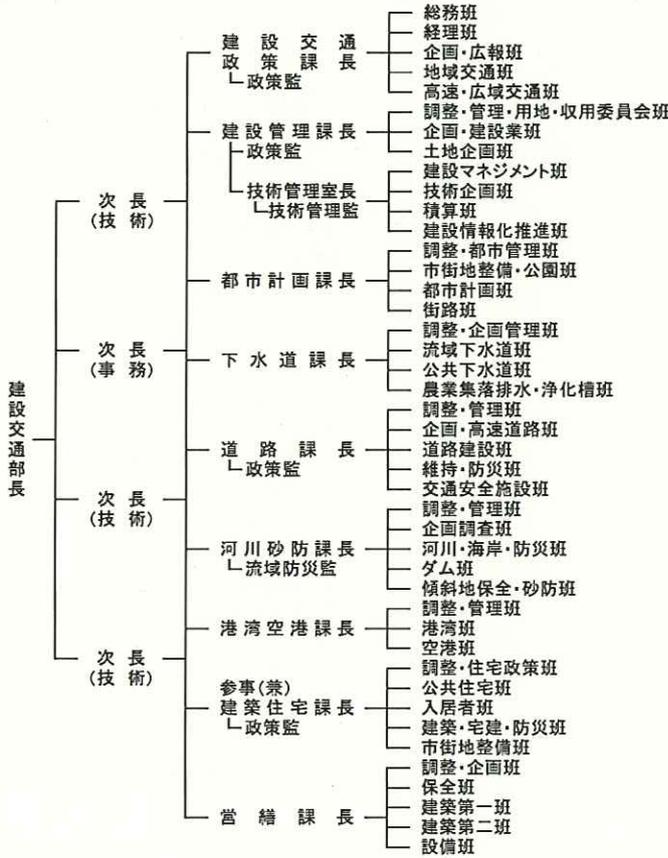


# 第 2 章 総 括

## 第 1 節 組織・機構

### 1 建設交通部の組織図

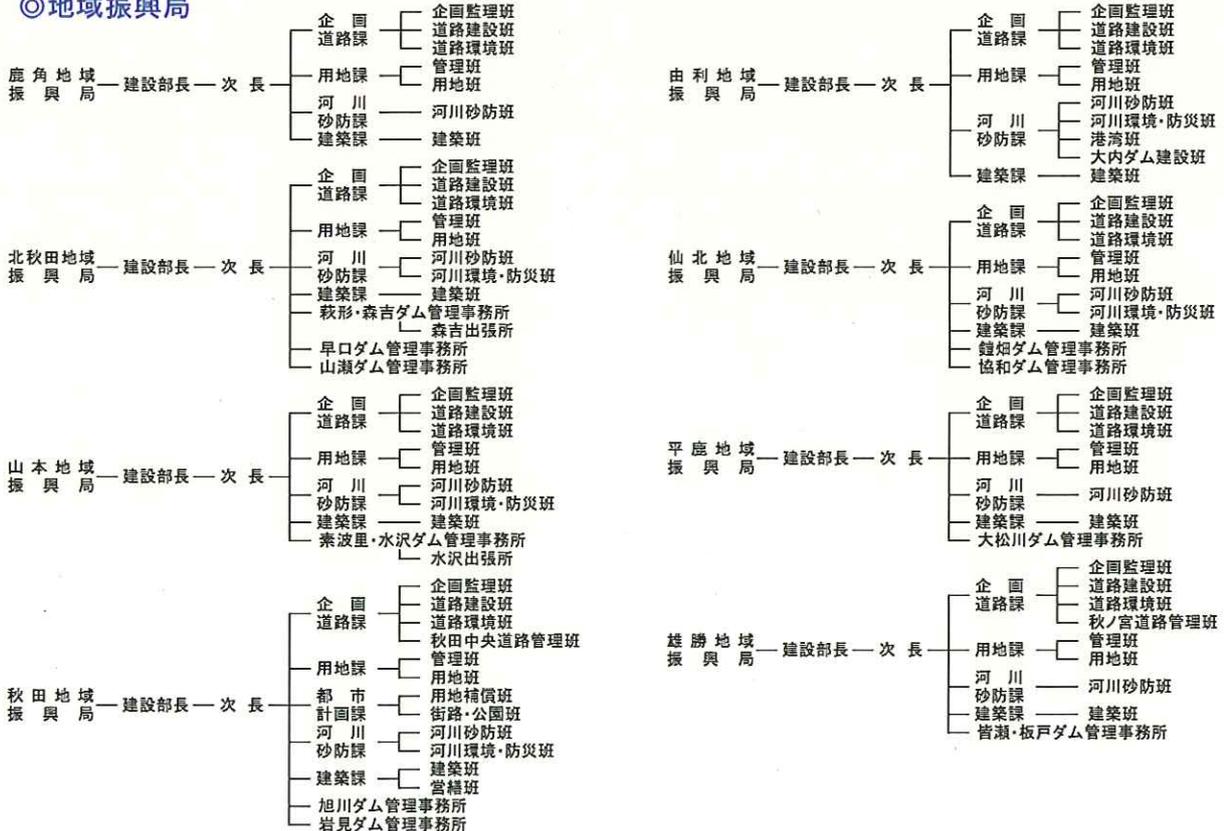
#### ◎本 庁



#### ◎建設交通部地方機関



#### ◎地域振興局



## 2 建設交通部及び地域振興局建設部職員数

H19.4.1現在

所 属 名	事務職員	技 術 職 員								現業職員	合計
		土木	建築	機械	電気	林業	農業土木	化学	小計		
建設交通部	1	4	2						6		7
建設交通政策課	34	4							4		38
建設管理課	19								0		19
建設管理課技術管理室		11	1			2	6		20		20
都市計画課	3	11	2						13		16
下水道課	1	9		2			2		13		14
道路課	4	21							21		25
河川砂防課	4	21							21		25
港湾空港課	4	8			1				9		13
建築住宅課	7		15						15		22
営繕課			15	3	3				21		21
本 庁 計	77	89	35	5	4	2	8	0	143	0	220
通											
北部流域下水道事務所	3	5		2	3			2	12		15
中央流域下水道事務所	3	7		4	5			2	18	1	22
南部流域下水道事務所	4	5		2	2			2	11	1	16
秋田中央道路建設事務所	5	6							6	1	12
秋田港湾事務所	7	5							5	1	13
船川港湾事務所	4	4							4	1	9
能代港湾事務所	3	4							4		7
砂子沢ダム建設事務所	3	10							10	1	14
秋田空港管理事務所	6	5			4				9	1	16
大館能代空港管理事務所	5	4			3				7	1	13
地 方 事 務 所 計	43	55	0	8	17	0	0	6	86	8	137
建設交通部 合計	120	144	35	13	21	2	8	6	229	8	357
地											
域											
鹿角地域振興局建設部	6	24	3						27	6	39
北秋田地域振興局建設部	8	27	5						32	6	46
萩形・森吉ダム管理事務所		3							3	2	5
森吉出張所		2							2	1	3
早口ダム管理事務所		3							3	2	5
山瀬ダム管理事務所		3							3	2	5
山本地域振興局建設部	7	22	4						26	6	39
素波里・水沢ダム管理事務所		3							3	2	5
水沢出張所		2							2	1	3
秋田地域振興局建設部	17	42	9	2	1				54	9	80
旭川ダム管理事務所		3							3	1	4
岩見ダム管理事務所		3							3	2	5
由利地域振興局建設部	8	37	5						42	6	56
仙北地域振興局建設部	9	30	5						35	6	50
鏡畑ダム管理事務所		3							3	2	5
協和ダム管理事務所		3							3	1	4
平鹿地域振興局建設部	6	21	3						24	6	36
大松川ダム管理事務所		3							3	1	4
雄勝地域振興局建設部	6	26	3						29	7	42
皆瀬・板戸ダム管理事務所		3							3	2	5
地域振興局建設部 合計	67	263	37	2	1	0	0	0	303	71	441
合 計	187	407	72	15	22	2	8	6	532	79	798
部外配属 計		54	5	2	1				62		62
総 計	187	461	77	17	23	2	8	6	594	79	860

### 3 建設交通部事務分掌

#### 本 庁

##### 建設交通政策課

- ・人事、予算及び経理に関すること。
- ・主要施策の企画及び調整並びに広報に関すること。
- ・交通体系の整備に関する調査及び企画に関すること。
- ・鉄道、バス及び海上交通に関すること。
- ・航空路線の維持・拡充に関すること。

##### 建設管理課

- ・建設業の許可及び監督に関すること。
- ・建設工事の入札・契約制度に関すること。
- ・公共用地の取得に伴う損失補償の基準に関すること。
- ・土地利用に関すること。
- ・土地収用及び収用委員会に関すること。
- ・国土交通省所管公共用財産に関すること。

##### 建設管理課技術管理室

- ・部内職員の研修及び技術的な指導に関すること。
- ・設計積算に関すること。
- ・電算システムの業務及び調査に関すること。
- ・建設情報の電子化の推進に関すること。

##### 都 市 計 画 課

- ・都市計画区域の決定に関すること。
- ・都市政策、土地利用及び都市計画の決定に関すること。
- ・土地区画整理事業の認可・指導に関すること。
- ・景観の形成に関すること。
- ・街路事業の認可・指導に関すること。
- ・都市公園、都市緑化に関すること。

##### 下 水 道 課

- ・生活排水処理に関する調査、企画及び調整に関すること。
- ・公共下水道の計画、認可実施業務指導、下水道等整備構想に関すること。
- ・流域別下水道整備総合計画認可、及び流域下水道の建設維持管理に関すること。
- ・農業集落排水及び合併処理浄化槽の整備に関すること。

##### 道 路 課

- ・道路に関する調査、企画及び調整に関すること。
- ・道路の新設及び改築に関すること。
- ・高速道路の整備促進に関すること。
- ・道路の維持及び修繕に関すること。
- ・路線の認定、廃止及び変更に関すること。
- ・市町村道事業の指導に関すること。
- ・交通安全施設整備に関すること。
- ・除雪、消融雪施設及び雪寒道路整備に関すること。

## 河川砂防課

- ・河川、海岸、砂防及び傾斜地の管理に関する事。
- ・河川、海岸、砂防及び傾斜地の調査、企画及び調整に関する事。
- ・河川事業及び砂防事業の計画及び実施に関する事。
- ・土木災害対策の総合調整及び災害復旧工事の総括に関する事。
- ・河川総合開発事業の建設に関する事。

## 港湾空港課

- ・公有水面の埋め立てに関する事。
- ・秋田空港及び大館能代空港に関する事。
- ・港湾・海岸の計画、調査に関する事。
- ・港湾・海岸事業の実施に関する事。

## 建築住宅課

- ・住宅政策に関する事。
- ・公営住宅計画、建設に関する事。
- ・公営住宅の管理指導に関する事。
- ・建築基準法他、宅地・建物に係る関係法令の指導に関する事。
- ・市街地再開発、住環境整備に関する事。

## 営繕課

- ・営繕工事の設計積算に関する事。
- ・県有建築物(知事部局所管、教育庁所管)の維持管理に関する事。
- ・県有建築物の調査、設計及び監督等に関する事。

## 地方

### 地域振興局建設部

- ・用地の取得、物件移転、補償及び登記に関する事。
- ・都市計画及び都市計画事業に関する事。
- ・道路、河川、海岸、砂防、都市計画施設、住宅及び営繕等に係る工事の設計、契約、施工、監督及び検査に関する事。
- ・道路、河川、海岸、砂防指定地、都市計画施設及び県営住宅並びに国有及び県有土地の維持管理に関する事。
- ・宅地造成等の規制に関する事。
- ・砂利採取及び砕石に関する事。
- ・交通政策に関する事。
- ・水防及び災害復旧事業に関する事。
- ・ダム建設、維持管理に関する事。

### 秋田中央道路建設事務所

- ・秋田中央道路の建設に関する事。

### 港湾事務所

- ・港湾施設の建設及び管理に関する事。

### 流域下水道事務所

- ・流域下水道の建設及び管理に関する事。

### 砂子沢ダム建設事務所

- ・砂子沢ダムの建設に関する事。

### 空港管理事務所

- ・空港の管理に関する事。

## 第2節 施策・予算

### 1 あきた21総合計画について

#### (1) 計画策定の趣旨

少子高齢化や経済のグローバル化の進展に加え、高度情報通信社会、環境重視社会の到来、地方分権の流れなど、時代が大きく転換している中で、地域主導の多様な主体の参加と交流・連携による取り組みがますます重視され、行政に求められている役割も変わりつつあります。

こうした時代の変化に速やかに対応しながら、秋田の発展可能性を切り拓くため、新世紀における県政運営の指針となる「あきた21総合計画」を策定しました。

#### (2) 計画の構成

計画は、「基本構想」と「実施計画」からなり、平成18年度から第3期実施計画がスタートしています。

基本構想  
2000～2010

2020年頃の秋田の姿を展望し、2010年までに県が行うべき政策・施策を基本目標別・地域別に明らかにするとともに、県政に対する県民参加の仕組みを提示します。

第3期実施計画  
2006～2008

基本構想に掲げた施策目標を総合的に達成するための事業計画を第2期実施計画の成果を踏まえ、基本目標別・地域別に明らかにしています。

#### (3) 基本構想(総合政策課HPより抜粋 H12策定)

##### ① 目指す社会は「時と豊かに暮らす秋田」

基本構想は、新しい秋田づくりのための3つの基本的視点とそれを補完する秋田の可能性を拓く新たな視点『遊・学3000』自由時間の活用のもとに、目指す社会を「時と豊かに暮らす秋田」とし、これを実現するため5つの基本目標を明らかにしています。

##### ② 人口・経済の見通し

- ・人口は、将来における安定的な人口バランスを維持するという考え方から、若い世代の社会減の縮小・出生率の向上などにより、2020年には「人口減少抑制型」で102万人になる見通し。
- ・経済は、産業全体の労働生産性の向上を図ることにより、年平均1.9%の成長を見込んでいます。

##### ③ 地域のグランドデザイン

「臨海軸」、「米代軸」、「雄物軸」、「内陸軸」の4つの「県土軸」という考えを取り入れるとともに、「地域が活発に交流・連携する秋田」、「東北の中の秋田」、「世界とのネットワークの広がる秋田」という切り口から、2020年の県土のデザインを描いています。

##### ④ 基本目標別政策

『時と豊かに暮らす秋田』を実現するため、今後2010年までに県が取り組んでいくべき21の政策を5つの基本目標ごとに示し、各種政策を総合的に推進します。

##### ⑤ 地域別政策

基本目標別政策を踏まえ、地域振興局ごとに地域の資源や特性などを生かした個性的で魅力ある地域づくりを行うため、2010年までの地域づくりの基本方向とそれを実現する主要な施策を示しています。

##### ⑥ 県民の夢創造・パートナーシッププラン

夢の実現という県と県民の協働の活動を通して、パートナーシップの精神を培い育み、新しい秋田づくりの大きな力とするため、県民総参加のプロジェクトとして「夢創造・パートナーシッププラン」を推進します。

# 基本構想の構成

## 序章

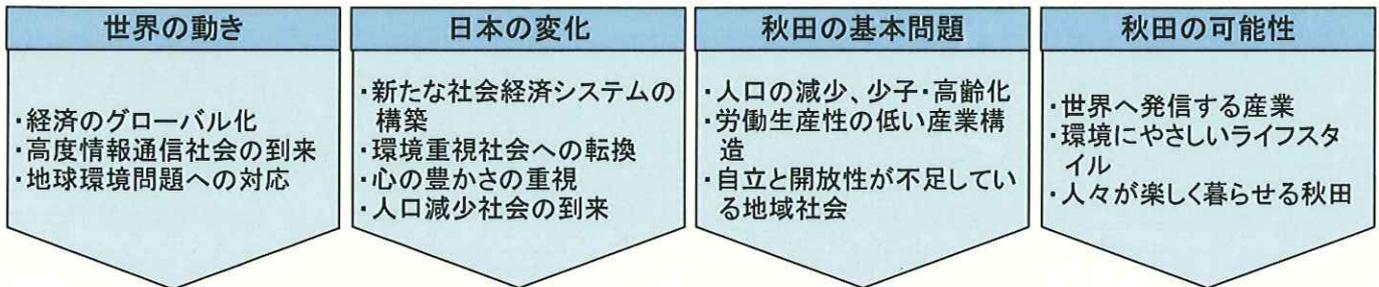
計画の策定に当たって

- 策定の主旨
- 計画の性格と役割
- 計画の構成と期間

## 第1章

新世紀秋田を展望する

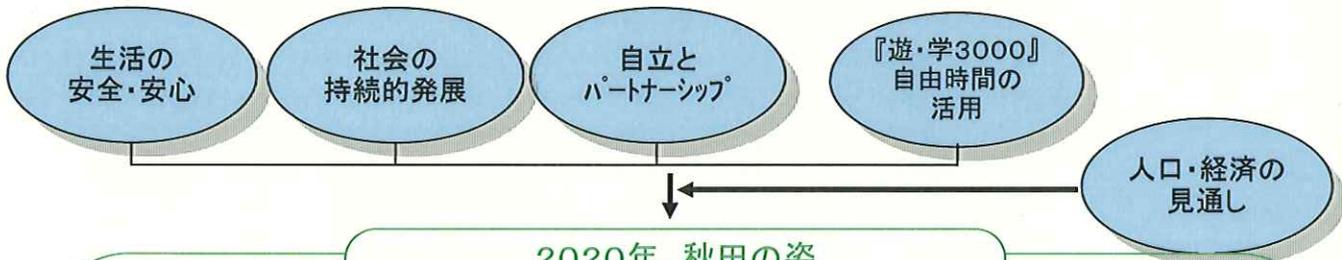
### 時代の潮流と秋田の可能性



### 新しい秋田づくりの視点

【基本的な視点】

【秋田の可能性を拓く新たな視点】



### 2020年、秋田の姿

目指す社会は **時と豊かに暮らす秋田**

実現のための5つの基本目標

安全・安心に楽しく暮らす秋田

チャレンジ精神豊かな人材が活躍する秋田

環境と共に生きる秋田

産業が力強く前進する秋田

地域が活発に交流・連携する秋田

### 地域のグランドデザイン

## 第2章

政策の展開と施策の方向  
(～2010年)

基本目標別政策

地域別施策

県民の夢創造・パートナーシッププラン

## 第3章

計画の推進に当たって

- 政策・事業評価システムによる計画の進行管理
- 簡素で効率的な行財政運営
- 公正で透明性の高い行政の推進
- 地方分権の推進と多様な主体との連携

「あきた21総合計画 第3期実施計画」基本目標別政策・施策体系

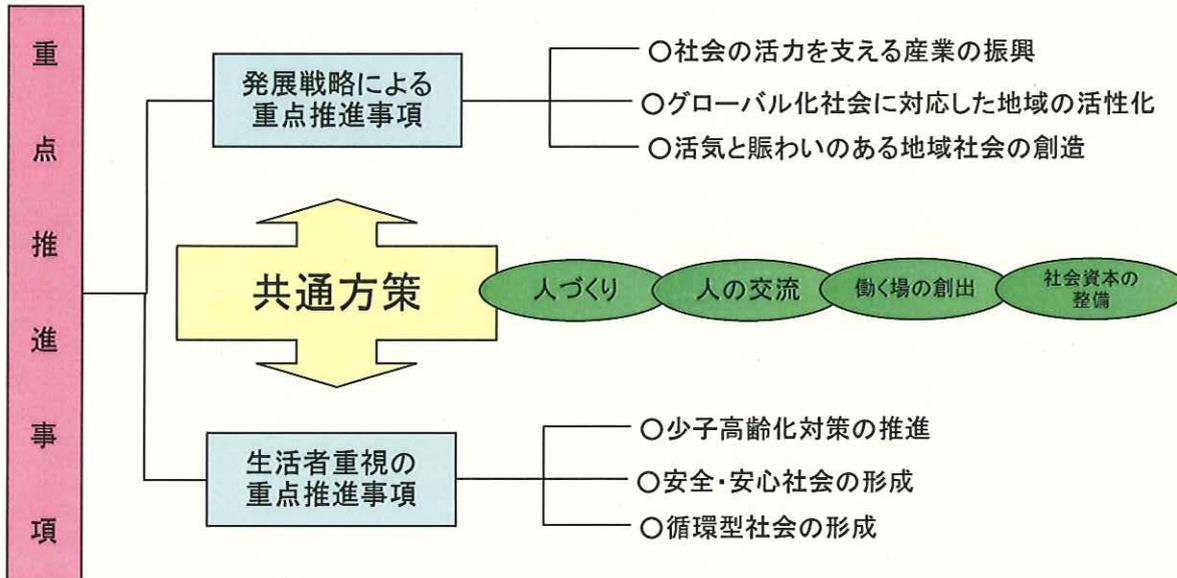
基本目標(5)	政策(21)	施策(第3期実施計画)(71)
○安全・安心に楽しく暮らす秋田	○みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現	○生涯を通じた健康づくりの推進 ○高齢者や障害者が元気に活躍できる社会づくり ○安全で快適なバリアフリー社会の実現 ○いつでもどこでも受けられる医療体制づくり ○身近で気軽に利用できる福祉サービスの提供
	○子育てに夢を持てる社会づくり	○社会全体で子育てを支える気運づくり ○地域社会の子育てサポート体制の充実 ○子育てと仕事の両立支援 ○子どもの健やかな成長の支援
	○快適で安全な生活を支える環境づくり	○四季を通じて快適な生活環境の確保 ○街なか活性化による賑わいの再生 ○災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実 ○交通安全や地域安全対策の推進 ○より良い消費生活と食品の安全・安心の確保 ○ゆとりある就業環境の整備 ○雪と共に生きる秋田の創造
	○彩り豊かな県民文化の創造	○心の豊かさを育む多彩な文化の振興 ○文化遺産の保存・継承と積極的な活用
	○楽しさはずむスポーツ王国づくり	○明るく健康的な暮らしを培うスポーツの振興 ○県民総参加による秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の開催
○チャレンジ精神豊かな人材が活躍する秋田	○個性と創造力を育む教育の推進	○豊かな個性や創造力を育む学校教育の充実 ○高等教育機関の整備充実と地域貢献の推進 ○地域が支える青少年の健全育成
	○自由時間の活用による心豊かなライフスタイルの創造	○生涯にわたって学習できる場と機会の提供 ○『遊・学3000』自由時間の活用
	○男女共同参画社会の形成	○男女共同参画社会の実現に向けた実践行動の促進 ○女性のチャレンジ支援と社会参画の促進 ○多様な生き方が選択できるシステムづくりの促進
	○パートナーシップによる地域社会づくり	○ボランティア・NPO活動の促進と県民参加の仕組みづくり ○個性と活力に満ちた地域づくり
○環境と共に生きる秋田	○県民総参加による環境の保全	○環境保全意識の醸成とパートナーシップによる行動 ○地球環境保全への積極的な取組 ○新エネルギーの導入促進
	○水と緑豊かな自然環境と人との共生	○未来へ引き継ぐ自然環境の体系的保全 ○森林・農地等の多様な機能の発揮による水と緑の秋田の創造 ○自然とふれあう多彩な活動の推進
	○環境への負荷の少ない循環型社会の構築	○廃棄物の発生抑制と循環の利用、適正処理の推進 ○良質な環境の創造と継承及び化学物質対策の推進 ○八郎湖の再生に向けた水質保全対策の推進
○産業が力強く前進する秋田	○産業の技術力・競争力の源となる科学技術基盤の形成	○科学技術を支える産・学・官それぞれの機能強化 ○産学官連携ネットワークの構築
	○豊かな自然と調和した個性あふれる農林水産業の振興	○消費者に安心と満足を届ける生産・販売体制の構築 ○地域農業との連携強化による秋田らしい食品産業の振興 ○流通新時代を勝ち抜く市場戦略性の高い産地づくりの推進 ○新時代に躍動する多様な農業経営体の育成 ○豊富な森林資源の循環利用による林業の推進 ○多様なニーズに対応できる高度技術を生かした木材産業の振興 ○資源を守り生かす漁業の推進
	○活力のある秋田の創造に向けた産業の振興	○秋田の強みを活かした産業の振興 ○新産業・新事業創出の取組に向けた支援 ○新たな雇用の創出につながる企業誘致 ○まちづくりと一体となった商業活動の活性化 ○秋田のポテンシャルを発揮した貿易の振興
	○地域の個性とともてなしの心で築く観光産業の振興	○地域の素材を活かした観光の振興と特産品の開発・販路拡大 ○観光客にやさしい受入態勢の充実強化 ○多様なニーズに対応したきめ細かな情報発信
	○産業構造の変化に対応した雇用機会の安定的な確保	○地域経済を活性化する雇用の創出 ○ライフステージに応じた就業支援や雇用環境整備の推進 ○産業ニーズに応じた職業能力開発支援
	○暮らしと産業を豊かにする情報化先進県秋田の創造	○暮らしや産業などの情報化の推進 ○情報通信基盤の整備
○地域が活発に交流・連携する秋田	○環日本海など国内外との交流促進	○環日本海地域を中心とした経済・学術交流活動の促進 ○国際交流・国際協力の推進 ○県境を越えた地域連携の推進
	○潤いとやすらぎを提供する農山漁村空間の創造	○快適で生き生きした農山漁村づくり ○農山漁村空間とのふれあいの場の提供 ○特色ある圏域として発展する中山間地域の創造
	○交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	○高速交通ネットワークの整備 ○環日本海交流を支える物流ネットワークの整備 ○地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
		○地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備

#### (4) 第3期実施計画

##### ① 計画策定の趣旨

平成15年度から始まった第2期実施計画が平成17年度で終了したことを受け、第2期実施計画の成果と課題を検証するとともに、情勢変化なども見極めながら、「元気なふるさと秋田」をつくりあげていくため、平成18年度から平成20年度までを期間とし策定したものである。

##### ② 第3期計画の重点推進事項



##### ③ 建設交通部関係の主な施策・取組方向

- 施策A-3 「安全で快適なバリアフリー社会の実現」
  - ・ 安全な住まいづくりの促進(秋田花まるっ住宅ガイドラインの普及、住宅のバリアフリー化等)
  - ・ 人にやさしく安全・安心なバリアフリー歩道整備の推進(段差解消、点字ブロック、電線地中化等)
- 施策C-1 「四季を通じて快適な生活環境の確保」
  - ・ 下水道等普及率の向上(公共下水道、集落排水、合併処理浄化槽の地域特性に応じた整備等)
  - ・ 潤い空間の創出(県立都市公園の適切な維持管理や整備等)
  - ・ 雪と共生できる地域づくり(歩道除雪や消融雪施設整備の推進、機動的な除排雪、防雪柵整備等)
- 施策C-2 「街なか活性化による賑わいの再生」
  - ・ 街なか居住の促進(都市計画制度・まちづくり交付金の活用等)
  - ・ 街なかの魅力向上の推進(ハード・ソフト事業への市町村との共同支援、都市基盤整備等)
- 施策C-3 「災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実」
  - ・ 土砂災害防止施設、河川、海岸等の整備(土砂災害、洪水、高潮等に対しソフト・ハード面の整備等)
- 施策C-4 「交通安全や地域安全対策の推進」
  - ・ 交通安全対策の推進(歩道の整備)
- 施策C-7 「雪と共に生きる秋田の創造」
  - ・ 雪に打ち克つ(歩道除雪や消融雪施設整備の推進、機動的な除排雪、防雪柵整備等)
- 施策K-3 「自然とふれあう多彩な活動の推進」
  - ・ 水と安全に親しむ空間の整備(河川広場・海岸砂浜・港湾緑地など親水空間の整備)
- 施策S-1 「環日本海地域を中心とした経済・学術交流活動の促進」
  - ・ 日本海沿岸地域との交流の促進(長距離フェリーの利便性維持・向上、PR活動)

- 施策U-1 「高速交通ネットワークの整備」
  - ・ 高速道路網の整備促進(事業中区間の整備促進、未着手区間の早期事業化)
  - ・ 高速ICへのアクセス機能の強化(アクセス道路の整備)
  - ・ 空港の利便性の向上(秋田空港・大館能代空港の利便性向上、ソウル便のPR活動強化)
  - ・ 全国一日交通圏の拡大(秋田空港・大館能代空港へのアクセス機能強化による交通圏拡大)
  - ・ 鉄道の利便性の向上と高速機能の整備充実(在来幹線鉄道の利便性向上、積極的な乗車運動等)
- 施策U-2 「環日本海交流を支える物流ネットワークの整備」
  - ・ 港湾機能の強化充実(秋田港、船川港、能代港の整備)
- 施策U-3 「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」
  - ・ 県内90分交通体系の確立(秋田市内都市施設への交通利便性の向上、幹線道路整備推進)
  - ・ 県管理国道の整備推進(県管理国道のバイパス建設や狭隘箇所の拡幅等)
  - ・ わかりやすい道路標識の整備推進
- 施策U-4 「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」
  - ・ 生活密着道路の整備推進(生活圏中心都市まで30分以内で到着できるように県道の整備)
  - ・ 県道の整備推進(県道のバイパス建設や狭隘箇所の拡幅等)
  - ・ 渋滞対策の推進(慢性的な渋滞箇所の解消のためバイパスや交差点改良、時差出勤の導入)
  - ・ 道の駅の整備推進
  - ・ 生活交通の確保(生活バス路線維持のため市町村やバス事業者へ支援等)

#### ④ 地域別計画(地域づくりの基本方向)

<b>鹿角地域</b> ・「癒しと健康」をテーマとした「体験する観光地域」づくり ・みんなで支え合い子ども高齢者も元気で暮らせる地域づくり ・環境にやさしいまちづくりを進める「県北部エコタウン」と「資源循環型農業」の推進 ・安全・安心でブランド力のある複合経営の推進と「水と緑のみなもと」豊かで多様な森林づくりの推進 ・北東北交流の拠点づくりのための交通ネットワークの整備	<b>大館・北秋田地域</b> ・癒しと学びの交流空間の形成と交通ネットワークの整備 ・環境にやさしいまちづくりを進める「県北部エコタウン」の形成 ・健康で豊かな生活を創造する多様な農林水産業の推進 ・住民が主体となった活気と賑わいのあるふるのまちづくり ・安全・安心で暮らしやすい生活を支える環境づくり
<b>能代・山本地域</b> ・環一白山山地を基軸とした豊かな環境づくり ・産一地域の資源を活かした産業の振興 ・食一多彩な食材を供給する「食」の地域づくり ・活一交流・連携の推進による地域活性化 ・創一「生涯にこやか健やかエリア」の形成による心豊かな暮らしの創造	<b>秋田周辺地域</b> ・心身ともに健康で、安心して暮らす社会の形成 ・都市と農山漁村、人と自然が調和する美しい風土の再構築 ・地域ならではの立地条件を活かした農林水産業の振興 ・市場と雇用を切り拓くたくましい産業力の創出 ・人流・物流・情報流の拠点として輝きある国内外交流の展開
<b>本荘・由利地域</b> ・環鳥海連携による多彩な資源を生かした広域的周遊型観光圏の形成 ・県立大学を核とした産学官連携による地域産業の活性化・高度化 ・鳥海山麓の豊かな自然が育む安全・安心な「由利ブランド」農林水産業の展開 ・チャレンジ精神に富むひとづくりと住民との協働による豊かなまちづくり	<b>大曲・仙北地域</b> ・将来に生き残る強い仙北農業の確立 ・豊かな自然と特色ある歴史文化に彩られた交流・観光拠点の魅力向上 ・安全で安心なまちづくり、地域特性に応じた健康づくりの推進
<b>横手・平鹿地域</b> ・安全と満足を提供するオンリーワン産地の形成 ・地域資源を生かした広域連携と産業振興 ・住民主体の安全・安心・生き生き社会 ・広域交流の促進と新横手市のまちづくり支援のための基盤整備	<b>湯沢・雄勝地域</b> ・南の玄関口としての交流促進と広域観光の推進 ・全国トップブランドを目指した農産物や地場産品づくり ・雄物川水系上流部の環境保全と安全・安心な地域づくり ・長寿と子育てを支え合う雄湯郷づくり

#### ⑤ その他

- 県民と共に推進する政策立案
  - 「県民と一緒に考える秋田の将来研究会」(県民、民間企業、県職員等で構成H17～)
    - ・ 特定の研究テーマごとに調査・研究→提言→県政策立案に反映→必要であれば事業化
- 「元気なふるさと秋田づくり」運動の展開
  - ・ 夢パートナーシッププランの推進
  - ・ 民間との協働による地域の自立(アウトソーシングの推進など)

## 建設交通部関係「施策目標」一覧

### ○基本目標「安全・安心に楽しく暮らす秋田」

政策「みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現」

施策	施策目標	単位	施策目標の値					
			当初		現状		平成19年 (2007年)	平成22年 (2010年)
			年	年	年	年		
安全で快適なバリアフリー社会の実現 (A-3)	住宅のバリアフリー化率	%	11	48	17	64	66	67
	歩道段差解消箇所等率	%	11	55	17	66	72	83

政策「快適で安全な生活を支える環境づくり」

施策	施策目標	単位	施策目標の値					
			当初		現状		平成19年 (2007年)	平成22年 (2010年)
			年	年	年	年		
四季を通じて快適な生活環境の確保 (C-1)	下水道等普及率	%	11	45.2	17	69.7	74	80
	県民一人当たり公園面積	m <sup>2</sup>	11	15.7	17	17.6	18.5	20.0
	消・融雪施設等整備率	%	11	53.0	17	58.6	58.9	60.7
街なか活性化による賑わいの再生 (C-2)	中心市街地区域内人口指数	—	—	—	—	—	98	100
	中心市街地歩行者指数	—	—	—	—	—	92	95
	都市計画道路整備率	%	11	46	17	48.8	56	57
災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実(C-3)	土砂災害危険箇所整備率	%	11	18.0	17	21.9	23	24.2
	河川整備率	%	11	42.7	17	44.4	44.7	45.0
	海岸整備率	%	11	48.4	17	56.3	56.8	57.3
	被災現場からの情報伝達時間	分	11	100以上	17	20以内	20以内	20以内
交通安全や地域安全対策の推進(C-4)	歩道等整備率	%	11	28.4	17	36.5	37.4	38.8
雪と共に生きる秋田の創造(C-7)	消・融雪施設等整備率	%	11	53.0	17	58.6	58.9	60.7

### ○基本目標「環境と共に生きる秋田」

政策「水と緑豊かな自然環境と人との共生」

施策	施策目標	単位	施策目標の値					
			当初		現状		平成19年 (2007年)	平成22年 (2010年)
			年	年	年	年		
自然とふれあう多彩な活動の促進(K-3)	親水空間整備率	%	11	39.5	17	53.2	57.1	65.8

### ○基本目標「地域が活発に交流・連携する秋田」

政策「環日本海など国内外との交流促進」

施策	施策目標	単位	施策目標の値					
			当初		現状		平成19年 (2007年)	平成22年 (2010年)
			年	年	年	年		
環日本海地域を中心とした経済・学術交流活動の促進(S-1)	長距離フェリーの便数	往復/週	11	6	17	5	6	8

政策「交流・連携と生活を支える交通基盤の整備」

施策	施策目標	単位	施策目標の値					
			当初		現状		平成19年 (2007年)	平成22年 (2010年)
			年	年	年	年		
高速交通ネットワークの整備 (U-1)	高速道路供用進捗率	%	11	45	17	60	77	82
	最寄りのICまで概ね30分以内の市町村数	市町村	11	13	17	54	23(66)	23(66)
	空港利用者数	千人	11	1,357	17	1,450	1,577	1,586
	全国一日交通圏参入市町村数	市町村	11	11	17	65	25(69)	25(69)
	JR鉄道年間乗車人員	万人	11	1,982	17	1,647	1,685	1,696
環日本海交流を支える物流ネットワークの整備(U-2)	秋田・船川・能代港取扱貨物量	万トン	11	1,070	17	1,397	1,400	1,660
地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備(U-3)	秋田市まで概ね90分以内に到達可能な市町村数	市町村	11	17	17	62	21(63)	21(63)
	県管理国道改良率	%	11	89.6	17	91.5	91.4	92.0
	わかりやすい道路標識整備箇所数	箇所	11	253	17	1,209	1,167	1,234
地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備(U-4)	生活圏中心都市まで概ね30分の市町村数	市町村	11	20	17	55	23(57)	23(57)
	県道改良率	%	11	64.6	17	68.3	69.3	70.8
	渋滞箇所の解消数	箇所	11	4	17	26	42	42
	道の駅整備箇所数	箇所	11	14	17	25	26	27
	生活路線(バス等)総延長	km	11	3,870	17	4,171	3,940	3,940

## 2 平成19年度 建設交通部重点施策

### 施策の基本方針

- あきた21総合計画「第3期実施計画」の2年目として、「元気なふるさと秋田づくり」を進めるため、計画に盛り込まれた各種施策目標の達成に向け、次の4つの重点事項に全力で取り組むとともに、秋田わか杉国体・わか杉大会の開催準備に万全を期すこととしています。
  - I 快適で安全な生活を支える環境づくり
  - II 交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
  - III みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現
  - IV 環境と共に生きる秋田
- 社会資本の整備については、公共事業の大幅な縮減や社会全体の役割分担の変化を踏まえ、ソフト施策との連携や既存施設の有効活用など、「つくる」から「つかう」ことに重点を置き、県民の安全・安心を確保するため欠くことのできない道路・河川の維持管理に最も基本的な業務として優先的に取り組みます。
- 経済活動や県民生活を支え、県勢発展の基盤となる新たな社会資本の整備については、なお一層の重点化とコスト縮減を図りながら着実に進めていきます。
- 今後、団塊世代の職員が大量に退職することから、これまで培われた技術の継承にも意を注いでいきます。
- 施策・事業の推進に当たっては、住民参加の取組を進めるとともに、説明責任を十分果たすことにより、効率的で透明性の高い行政の実現に努めます。

重点施策		当初予算	内 容	所管課名
No	事業名	事業費(千円)		
I	快適で安全な生活を支える環境づくり 快適で安全な生活を実現するため、災害に強い県土づくりや下水道をはじめとした生活環境施設の整備、交通安全施設の整備、街路や公園の整備など安全で魅力あるまちづくりを推進します。			
1	災害に強い県土づくり	1,760,000 100,000  1,489,554 286,300  9,198	<b>(1) 河川改修等の推進</b> ①国直轄河川の整備促進【国直轄事業】 ・雄物川 小種・強首地区(大仙市)ほか ・米代川 二ツ井地区(能代市)ほか ・子吉川 荒町地区(由利本荘市)ほか ②補助事業による整備(広域河川改修事業) ・基幹河川改修 横手川(横手市) など10箇所 ・鉄道橋・道路橋緊急対策 新城川(秋田市) ③県単事業による整備 ・県単河川改良 大沢川(大仙市)ほか ・県単河川環境整備 地域振興局枠 桧山川(能代市)ほか ・斉内川河道計画策定 斉内川(大仙市) ④河川総合開発の推進 ・国直轄ダムの整備促進【国直轄事業】 森吉山ダム(北秋田市) 本体工事等 成瀬ダム(東成瀬村) 付替道路工事、用地補償等 鳥海ダム(由利本荘市) 地質調査、環境調査等	河川砂防課

No	事業名	事業費(千円)	内 容	所管課名
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助ダムの整備</li> <li>砂子沢ダム(小坂町) 本体工事等</li> <li>大内ダム(由利本荘市) 本体工事等</li> <li>⑤河川施設等の維持管理の充実</li> <li>公共堰堤改良事業</li> <li>・鎧畑ダム(仙北市) 警報設備改良等</li> <li>⑥ハザードマップ作成支援事業</li> <li>洪水時の被害を軽減するため、避難場所等を示す市町村のハザードマップの作成を支援する。</li> <li>⑦みんなで安心～地域防災力レベルアップ事業</li> <li>水位表示板の設置や地域密着型の防災計画作成への支援など、市町村と連携して地域防災力の向上に取り組む。</li> </ul>	河川砂防課
		3,297,000		
		1,040,000		
		200,000		
		8,100		
		2,800		
		1,025,000	<b>(2) 土砂災害対策等の推進</b>	
		745,000	①国直轄火山砂防事業の促進【国直轄事業】	
		216,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡平山系(仙北市)</li> </ul>	
		220,000	②砂防事業	
		1,142,815	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常砂防 藤倉沢(湯沢市) など16箇所</li> <li>・火山砂防 白雪川(にかほ市) など9箇所</li> </ul>	
			③地すべり対策事業	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・下前田地区(北秋田市) など4箇所</li> </ul>	
			④急傾斜地崩壊対策事業	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒲田地区(由利本荘市) など5箇所</li> </ul>	
			<b>(3) 水害・土砂災害対策の総合的な推進(総合流域防災事業)</b>	
			①浸水想定区域調査 窪堰川(大仙市) など2箇所	
			②河川改修 福士川(鹿角市) など3箇所	
			③統合河川整備 土買川(大仙市) など3箇所	
			④通常砂防 西根沢(大仙市) など3箇所	
			⑤情報基盤緊急整備 ダム情報システム構築等	
			⑥急傾斜地崩壊対策 本内地区(男鹿市) など3箇所	
			⑦地すべり対策 加茂青砂(男鹿市)	
			⑧砂防関係基礎調査	
			土砂災害防止法に基づく危険箇所調査等(140箇所)	
			⑨雪崩対策事業 羽立(北秋田市) など3箇所	
			<b>(4) 海岸保全対策の推進</b>	
		295,000	①海岸侵食対策 浅内海岸(能代市) など3箇所	
		40,000	②海岸侵食対策事業(港湾海岸)	港湾空港課
			本荘港水林地区(由利本荘市)	
2	道路の防災対策、維持管理等の充実	310,000	<b>(1) 道路の防災対策の実施等</b>	道路課
		396,000	道路法面の防災対策や橋梁の耐震補強を実施する。	
		547,000	①国道道路災害防除事業	
			国道341号(仙北市玉川) など6箇所	
			②道路総合防災対策事業	
			国道282号 浜田橋(鹿角市錦木) ほか	
			③県単道路災害防除事業	
			男鹿半島線(男鹿市戸賀) ほか	





No	事業名	事業費(千円)	内 容	所管課名
		450	③高速道路整備促進のための県民運動の推進 ・高速道路整備促進大会の開催等 ④高速道路インターチェンジへのアクセス機能の強化 ・国道107号本荘ICアクセス道路(由利本荘市0.2km)	
			<b>(2) 地域高規格道路の整備促進</b> ①秋田中央道路(秋田市 2.55km) ②国道105号本荘大曲道路 ・岩谷道路(由利本荘市 0.8km) ③国道46号盛岡秋田道路【国直轄事業】 ・角館バイパス(仙北市 6.1km)	都市計画課 道路課
		26,132	<b>(3) 空港の利便性の向上</b> ①秋田空港の機能強化と利便性の向上 ・東京便の夜間駐機の定着などによる利便性向上	建設交通 政策課
		774	・利便性向上のための事業計画の策定	
		44,222	・秋田・ソウル間の国際定期便の定着化と利用促進(修学旅行の利用促進等)	
		31,500	・空港施設の維持・更新、車両整備	港湾空港課
		5,192	・秋田空港立体駐車場の整備をするための計画の策定	
		400,000	・空港へのアクセス機能の強化 秋田御所野雄和線(秋田市御所野)の整備	道路課
		9,327	②空港の保安対策強化 ・秋田空港、大館能代空港におけるハイジャック・テロ防止等の保安対策の強化	港湾空港課
2	環日本海交流を支える物流ネットワークの整備	70,000	<b>(1) 港湾機能の強化充実</b> ①秋田港の整備 ・港内の静穏度向上のための防波堤の整備 外港地区防波堤(第二南)等の整備促進【国直轄事業】 ・耐震補強のための橋梁改良 向浜地区港大橋・新港大橋	港湾空港課
		251,000	②船川港の整備 ・物流機能向上のための道路整備 臨港道路生鼻崎線(主要地方道男鹿半島線)	道路課 港湾空港課
		300,000	③能代港の整備 ・港内の静穏度向上のための防波堤の整備 外港地区防波堤(第二北)の整備促進【国直轄事業】 外港地区防波堤改良の推進(外港北) ・エネルギー港湾制度を活用した大型船の航行安全確保 大森地区航路(-13~-15m)(埋没)事業の促進 【国直轄事業】	
		300	④放置艇対策事業 公共水域における船舶航行の安全を確保するため、港や河川に禁止区域を設定し放置艇対策に取り組む	

No	事業名	事業費(千円)	内 容	所管課名
		1,561	(2) 日本海沿岸地域との交流促進 ・長距離フェリーの利用促進 貨物利用促進説明会及び旅行企画助成の実施	建設交通 政策課
3	地域間交流・ 連携を支える 交通ネットワ ークの整備		(1) 県内90分交通体系の確立【直轄国道の整備促進】 ・国道7号の整備 下浜道路の整備促進 ・国道13号の整備 神宮寺バイパス(大仙市 9.6km)等 の整備促進 ・国道46号の整備 角館バイパス(仙北市 6.1km)の 整備促進(再掲)	道路課
		2,250,000	(2) 県管理国道の整備推進 ①国道道路改築事業 ・国道105号岩谷道路(由利本荘市 0.8km) ・国道285号滝ノ沢バイパス(北秋田市 5.4km) ・国道398号大湯道路(湯沢市 6.1kmの残区間2.5km) ・国道101号羽立バイパス(男鹿市 1.4km) など8箇所	道路課
		684,000	②国道特殊改良一種事業 ・国道107号本荘ICアクセス(由利本荘市 0.2km) ・国道101号能代南拡幅(能代市 0.4km) など4箇所	
		206,000	③国体関連生活道路整備 ・国道108号畑工区(湯沢市 6.1km)	
		43,000	(3) わかりやすい道路標識の整備推進 ・あきた北空港西線(北秋田市) など	
4	地域内交通ネ ットワーク・ 生活圏交通の 整備	76,000	(1) 生活密着道路の整備推進(生活圏30分形成道路整備事業) ・鷹巣川井堂川線芹沢工区(北秋田市 1.1km)	道路課
		5,634,000	(2) 県道の整備推進 ①県道の整備 ・地域高規格道路へのアクセス 日三市角館線鶴ノ崎橋(仙北市 1.5km) ・バイパスの建設 男鹿半島線戸賀工区(男鹿市 2.6km) ・狭隘箇所の拡幅 大館十和田湖線新沢工区 (大館市0.4km) ・老朽橋の架替 大曲大森羽後線大曲橋(大仙市 1.4km) ほか	
		850,000	②緊急生活道路整備枠の確保 ・地域振興局裁量により道路整備ができる予算を確保	
		494,325	(3) 生活交通の確保 ①地域の生活交通の維持確保 ・生活バス路線等の維持確保のための不採算路線等に対 する助成 地方バス路線維持事業(国県協調補助) 生活バス路線等維持事業(県単独補助)	建設交通 政策課

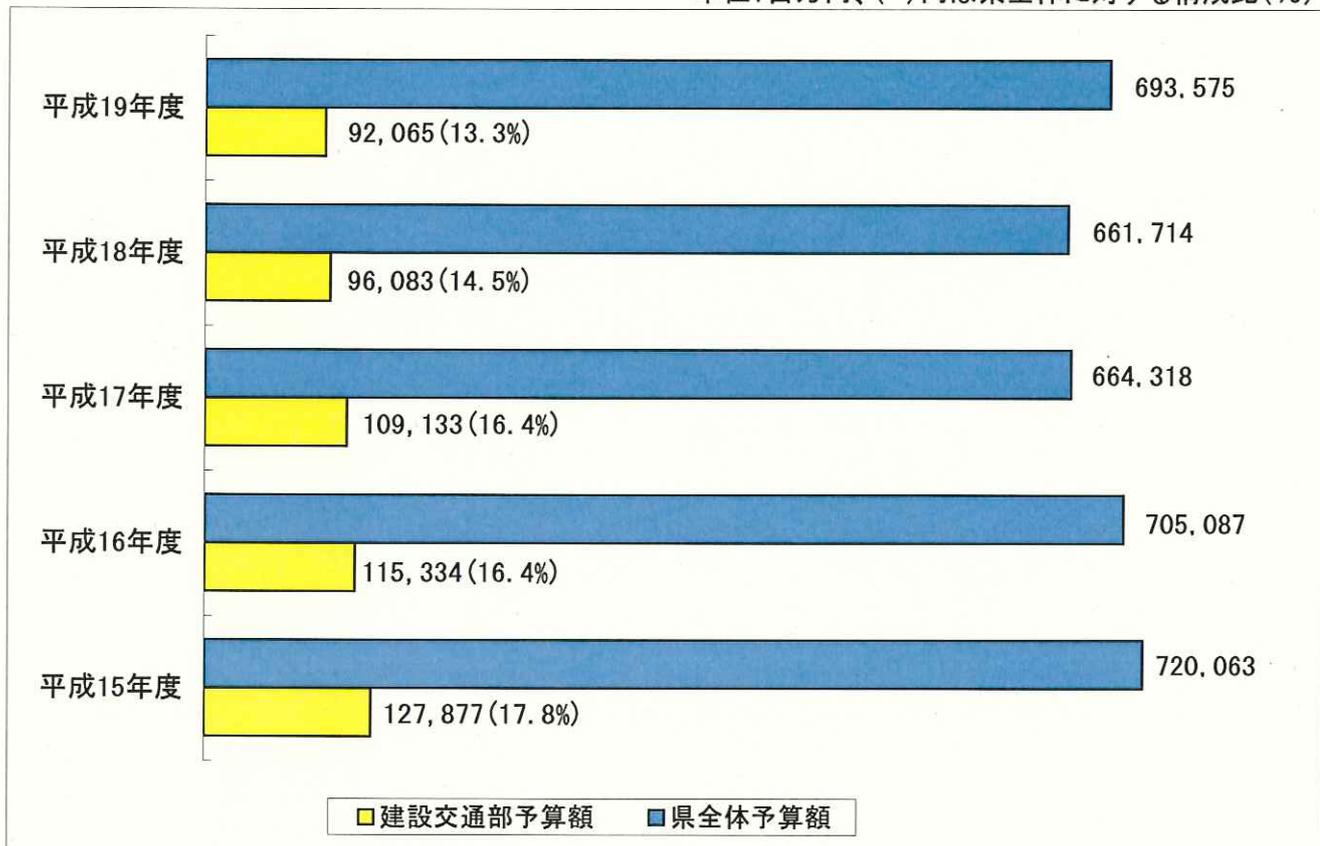
No	事業名	事業費(千円)	内 容	所管課名
		180,507	②第三セクター鉄道の経営の安定と近代化の促進 ・秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道 鉄道設備の近代化設備整備費助成等 (軌道整備、車両改良等) 経営の安定(鉄道運営費助成等)	建設交通 政策課
		5,139	(4)秋田県総合交通ビジョン(仮称)の策定 ・今後の本県の交通施策の方向性を示す新たな指針を策定	
III	<b>みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現</b> 県民一人ひとりが、どこに住んでいても生涯にわたって生き生きと安心して暮らすことができる社会を実現するため、安全な住まいづくりや人にやさしい道づくりなどを推進します。			
1	安全で快適な バリアフリー 社会の実現	6,441,873	(1)安全な住まいづくりの促進 ①秋田県住宅建設資金融資制度の利用促進 ・ほっと安心あきた住宅資金 ・住宅改良資金 ②秋田花まるっ住宅サポートネットワーク事業 ③公営住宅の整備 ・県営南ヶ丘住宅の建設 ・御野場団地改善など県営住宅ストックの総合改善	建築住宅課
		3,217	④木造住宅の耐震化の促進 木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断・耐震改修に関するPRや耐震相談体制の充実等を図る。	建築住宅課
		621,985	(2)人にやさしく安全・安心なバリアフリー歩道整備の推進 ①歩道の段差解消 ・国道105号(大仙市美原町) など	道路課
		5,264	②電線共同溝の整備(無電柱化) ・秋田天王線(秋田市保戸野)	
IV	<b>環境と共に生きる秋田</b> 県民参加による愛護活動やクリーンアップを推進するとともに、優れた自然環境の保全や環境への負荷の少ない循環型社会の構築を推進します。			
1	環境保全意識 の醸成とパート ナーシップ による行動	37,965	(1)環境保全活動の推進 ・道路環境整備活動推進事業、環境整備地域連携事業、 県単海岸環境整備事業 愛護団体やボランティア等が行う道路、河川、海岸の クリーンアップなど美化活動に要する経費の一部について、市町村を通じて補助し地域のボランティア等の環境 整備活動を支援する。	道路課 河川砂防課

No	事業名	事業費(千円)	内 容	所管課名
2	自然とふれあ う多彩な活動 の推進	15,400  54,000	(1) 水と安全に親しむ空間の整備 ①河川空間の整備 ・ 県単河川環境整備(広場) 横手川(横手市) ②海岸空間の整備 ・ 海岸環境整備事業 琴浜海岸(男鹿市)	河川砂防課
3	廃棄物の発生 抑制と循環的 利用、適正処 理の推進		(1) 廃棄物の発生抑制 建設副産物対策の推進 ・ 建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進 ・ 建設リサイクル法の周知徹底と適正執行の確保	建設管理課 技術管理室
4	八郎湖の再生 に向けた水質 保全対策の推 進		(1) 流域からの汚濁負荷の軽減 生活排水の適正処理 公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の整備	下水道課
V	そ の 他 あきた21総合計画「第3期実施計画」における建設交通部の施策・事業と一体をなす ものとして次の取組を推進します。			
1	あきた21総 合計画の推進 にあたっての 建設交通部の 取組		(1) 「秋田県政策等の評価に関する条例」に基づく評価の実施 ①政策・施策・事業評価の実施と施策事業への反映 ②公共事業評価(新規・継続・再評価・終了)の実施及び 「公共事業評価専門委員会」における調査審議 (2) 公共工事のコスト縮減 ①県独自の計画・設計仕様(秋田スペック)の拡充 ②新たな積算手法(ユニットプライス)の推進 ③CALS/EC(公共事業のIT化)の推進 ④設計VE(設計段階でのコスト縮減の検討)の推進 (3) 公正で透明性の高い行政の推進 ①条件付き一般競争入札の導入 ②VE方式等多様な入札・契約方式の推進 ③電子入札の本格実施	建設交通 政策課  建設管理課 技術管理室

### 3 平成19年度当初予算の概要

#### ◆県予算及び建設交通部予算の推移

単位：百万円、( )内は県全体に対する構成比(%)



#### ◆平成19年度当初予算概況

(単位：千円、%)

区分	18年度当初予算 ①	19年度当初予算 ②	増減額 ②-①	増減比 ②/①
一般会計A	96,082,945	92,065,466	▲ 4,017,479	95.8
公共事業	52,169,054	49,520,516	▲ 2,648,538	94.9
単独投資事業	22,623,404	20,170,753	▲ 2,452,651	89.2
非公共事業	213,644	201,957	▲ 11,687	94.5
その他行政経費	21,076,843	22,172,240	1,095,397	105.2
特別会計	10,330,443	9,484,842	▲ 845,601	91.8
公共事業	5,303,000	3,740,000	▲ 1,563,000	70.5
その他	5,027,443	5,744,842	717,399	114.3
合計	106,413,388	101,550,308	▲ 4,863,080	95.4
県全体(一般会計)B	661,714,000	693,575,437	31,861,437	104.8
構成比(A/B)	14.5%	13.3%	—	—